

特色ある教育

全学連携教育機構

本学は、総合大学として、各教育組織それぞれの専門分野に立脚した教育課程の編成・実施方針に基づき体系的な教育を展開しています。他方において、急速に進展する情報化、グローバル化への対応能力の修得は、専門分野を問わずすべての学生に求められるものです。これらの汎用的能力として、①問題発見・解決能力、②自己発見・自己認識力、③情報

リテラシー能力、④日本語および外国語によるコミュニケーション能力等が挙げられます。

本学では、これらの汎用的能力の涵養に関する社会的要請に全学を挙げて対応していく体制を構築し、各学部等の教育体系との有機的な連携を図りながら全学的教育を展開するため、全学連携教育機構を設置しています。



詳細はこちらから▶

ファカルティリンケージ・プログラム(FLP)

FLPは、幅広い学問領域をもつ総合大学のメリットを活かした教育プログラムです。新たな知識領域を広げる5つのプログラムを設置し、全ての学部の学生が履修することができます。所属学部で主専攻を修めながら、学部の枠を越え、座学だけでなく、フィールドワークなどの実践的な学びから広い視野と柔軟な思考を養います。

設置プログラム

- 環境・社会・ガバナンス
- メディア・ジャーナリズム
- 国際協力
- スポーツ・健康科学
- 地域・公共マネジメント

グローバルFLP

グローバルFLPは、実学教育を通じて修得した専門知識・技能を、グローバル社会で発揮できる「グローバル・プロフェッショナル」の育成を目指し、すべての科目を少人数制かつ外国語で教える全学的教育プログラムです。講師は海外での勤務経験のある教員が務めます。

AI・データサイエンス全学プログラム

文理を問わず全学部生を対象として、AI・データサイエンス分野をリテラシーから応用基礎レベルまで系統的に学修するプログラムです。リテラシーレベルの科目「AI・データサイエンスと現代社会」・「AI・データサイエンス総合」、プログラミング言語などを学ぶ「AI・データサイエンスツールI～IV」、ゼミ活動で課題解決型学習を行う「AI・データサイエンス演習」などの科目により、未来社会において新たな価値を見出す人材の育成を目指します。

教育力研究開発機構

2021年4月に、中央大学における教育のあり方について調査研究開発を行い、教育力を飛躍させることを目的として、教育力研究開発機構を設置しました。

本学の教育力飛躍のプラットフォームとして、①教育コンテンツに関する技術的問題への対

応、②授業コンテンツに関する権利問題への対応、③ICTを活用した教育技法の研究開発、④FDとSDとの連携した取り組み、⑤学修成果の評価技法の研究開発、⑥学生ポートフォリオの運用などに取り組みます。



詳細はこちらから▶

これからの授業デザイン・実践ハンドブック

「中央大学の授業におけるデジタル技術活用の方針」に基づき、「これからの授業デザイン・実践ハンドブック～デジタル技術活用のヒント～」を作成しました。デジタル技術を活用した授業デザインの解説や、その実践をしている教員の「グッドプラクティス」を広くまとめています。

オープンバッジ

中央大学では2021年度より、一般財団法人オープンバッジ・ネットワークが発行する「オープンバッジ」を導入し、学修成果の可視化により学生の主体的な学びを支援しています。取得したバッジは、SNSや就職活動等で在学中から卒業後まで自身のキャリアを証明する資産として永続的に活用可能です。

2026年度からは、アドミッション・ポリシーが掲げる資質を備えていることを公式に認定する「新入生バッジ」を全新生に発行します。これを学生自らが学習ロードマップを歩み出す「学びの起点」と位置づけます。

中央大学でのオープンバッジの発行基準 一発行主体や性質に応じ、以下の色分け、基準に基づき体系化されています。

					
中大ブルー	中大レッド	ゴールド	シルバー	ブロンズ	新入生バッジ
理事長または学長が発行する証明書や表彰状等		各機関（学部やセンター、機構等）で発行する修了証や表彰状、会員証等		科目担当責任者等各種責任者が発行する努力賞や参加賞等	
				学生自らが学習ロードマップを歩み出す「学びの起点」	